

いつでも元気なママでいたいね!
滝澤先生の

漢方相談室

○ 出産後、生理が不順に…。2人目も授かりたいので早く整えたい!

△ 出産を機に体質が変わったと感じる人はよくいます。出産・育児と疲れもたまり、もともと体の弱かった部分が目だってくることも多く、生理周期が変わってきたら注意が必要です。

周期が遅れる人は、冷えが強くお腹や腰が痛くなりやすい「機能不足タイプ」と考えられます。排卵までに時間がかかり、多囊胞性卵巣症候群、黄体機能不全にもつながります。また授乳ホルモンであるプロラクチンが高い人も、基礎体温が不安定になり排卵障害を引き起こしたり、子宮内膜にも着床しにくい状態となります。逆に周期が短くなったり不規則になるのは「機能亢進タイプ」。

今回のおすすめ漢方!!

婦科 生理痛 漢方

300ml ¥5,607
600ml ¥10,195



養月堂 漢方

180P ¥9,975



▲きれいな血を増やし、ホルモンバランスを整えたり卵巣機能をアップします。

▲お腹を暖め、卵巣のうごきを活発にしてくれます。周期が遅くなる方に。

NO.1 味直道取



90包 ¥9,450
30包 ¥3,150

▲気持ちをリラックスさせ、ホルモン分泌や体温を安定させます。高期が早まる方にも。

薄荷(ほっか)

ハーブの香りを嗅ぐと頭がすっきりしたり食欲が出たりしますよね。これはさまざまな精油成分によるもので、ajikido味直道取などに含まれるハーブの代表「ハッカ」は、女性の体内で良い気を巡らせ気持ちを静める役割をします。ただ気を巡らせるものばかりだと体が乾燥してしまうので、漢方処方の際は、潤滑作用の「当帰」や「芍薬」を一組に使い、薬性の面でもバランスをとっています。

ストレスなどで気の巡りが悪くなり、特に高温期は気持ちが不安定になります。また基礎体温も変動が激しく、排卵のタイミングがつかみにくくなります。いずれも出産・授乳で消耗した血の不足「血虚」がベースにあり、冷えやストレスで卵巣機能やホルモン分泌がうまくいかなかったことが原因。中医学ではよい血を捕いながらお腹を暖めたり緊張を除いたりして体調や生理周期を整えていきます。生理は女性の健康状態を知るバロメーター。不調を感じたり気になることがあれば、早めににご相談ください。



今回のアドバイザー

雙玉堂漢澤薬局
滝澤 澄子 氏
Sumiko Takizawa

漢方薬局に勤務後、2001年
に国家資格をとり、日本
中医学研究会会員、日本
漢方薬文化研究会会員
東京都、国際中医学士。

雙玉堂漢澤薬局

〒323-0024 小山市宮本町3-1-10

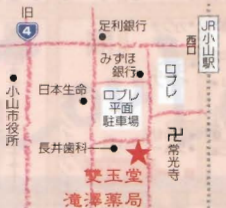
【営業時間】AM10:00~PM7:00【定休日】日曜日

☎0285-30-3810 (FAX専用)

info@sougyokudo.jp

http://info@sougyokudo.jp

漢方で改善できるか聞いてみたいママや家族のお悩み症状を受け付けています。FAX、ハガキ、ホームページから相談いただけますのでお気軽にご連絡ください。



小山駅西口より徒歩3分